

# 安全データシート

作成:1997年 5月27日

改訂:2022年10月12日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KX001-10  
製品名 : クミテン  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3823-6830  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

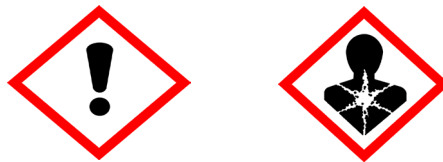
GHS分類

物理化学性危険性	引火性液体	: 区分4
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2A
	生殖毒性	: 区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(中枢神経系、視覚器)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・可燃性液体
- ・強い眼刺激
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害
- ・眠気又はめまいのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害
- ・水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

#### 【応急処置】

- ・火災の場合：消火するために適切な消火剤(5. 火災時の措置参照)を使用すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

#### 【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル

ナフタレンスルホン酸・ホルムアルデヒド縮合物ナトリウム塩

成分及び含有量：	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル	20.0%
	ナフタレンスルホン酸・ホルムアルデヒド縮合物ナトリウム塩	6.0%
<その他>	メタノール	5.0%
	水 等	69.0%

化学式：  $(C_2H_4O)_n \cdot C_{15}H_{24}O$  / ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル  
 $CH_3OH$  / メタノール

官報公示整理番号： 化審法 (7)－172 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル  
 (2)－201 メタノール

CAS No.： 9016-45-9 / ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル  
 9084-06-4 / ナフタレンスルホン酸・ホルムアルデヒド縮合物ナトリウム塩  
 67-56-1 / メタノール

### 4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場所へ移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療措置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所へ移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。製剤に含まれている有機溶剤による中毒も考慮する。

### 5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器。

使ってはならない消火剤：データなし

消火活動上の注意：消火のための放水等により、製剤が流出しないよう適切な措置を行う。

## 6. 漏出時の措置

作業者に対する注意: 作業の際には保護具(8. ばく露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境影響に対する注意: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

流出物の処理に対する注意: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意: 取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

火災・爆発の防止: 通常の使用方法で問題ない。

保管上の注意: 通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

## 8. ばく露防止措置

管理濃度: メタノール 200ppm(作業環境評価基準)

許容濃度: メタノール 200ppm(260mg/m<sup>3</sup>) 日本産業衛生学会勧告値(2009年)

メタノール TLV-TWA 200ppm ACGIH(2009年)

設備対策: 取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具: 防毒マスク(有機ガス用)

保護手袋: ゴム手袋、耐溶剤用手袋

保護眼鏡: 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣: 作業着、帽子、保護服(不浸透性)

## 9. 物理・化学的性質

外観等	: 淡黄褐色液体
臭い	: データなし
pH (100倍希釈液)	: 6.3(参考値)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 61°C
自然発火点	: データなし
燃焼性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.04(参考値)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	5000 mg/kg 以上
	マウス(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	5000 mg/kg 以上
急性毒性(経皮)	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	2000 mg/kg 以上
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
急性毒性(吸入:ミスと)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ	重度の刺激性あり(角膜混濁、結膜の発赤および浮腫、14日後に回復)
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: モルモット	感作性なし
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: 含有するポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテルが区分2、メタノールが区分1Bに分類されていることから、区分1Bとした。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: メタノールとして、区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3(麻酔作用)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: メタノールとして区分1(中枢神経系、視覚器)	
誤えん有害性	: データなし	

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC <sub>50</sub>	34.1 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC <sub>50</sub>	334 mg/l (48時間)
藻類	: EC <sub>50</sub>	254 mg/l (72時間)
残留性/分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壤中の移動性	: データなし	
オゾン層への有害性	: データなし	
その他	: 通常の使用方法で問題無い。	

## 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に扱う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に扱う。

車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

消防法の定めに従う。

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 消防法、道路法の規定に従う。

## 15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第9525号
消防法	: 指定可燃物 可燃性液体類 登録番号4046X093565
労働安全衛生法	: 有機溶剤中毒防止規則第1条 第2種有機溶剤/メタノール

